

# 本市の発展に尽力された方々へ



11月3日(木・祝)文化の日、稚内市政功労者等表彰式が市役所で執り行われました。市政の発展に貢献された13名と2団体のみなさんに、工藤市長から表彰状と記念品が手渡されました。

## ズームアップ

### 子どもたちと楽しいひととき



11月2日(水)、天北小中学校で高齢者と子どもたちの集い「カフェ天北&ふれあいの集い」が開催されました。地域のおじいちゃん、おばあちゃん28人と天北小中学校の児童生徒50人が自宅で気軽にできる体操や昔の遊びなどで交流し、楽しい時間を過ごしました。



最先端の取り組みを紹介

燃料電池車は、従来のガソリン等の代わりに「水素燃料電池車は「究極のエコカー」

国や北海道での水素エネルギーの現状や、企業の取り組み例などが紹介されたほか、稚内では初めての燃料電池車(FCEV)の見学、試乗会も行われました。

家庭用の省エネ設備として、プロパンガスなどを直接燃焼させるのではなく、ガスから水素を取り出して、酸素と化学反応させ電気や熱を生み出す「エネファーム(家庭用燃料電池)コージェネレーションシステム」の普及も始まっています。

しかし、国内ではすでに家庭用の省エネ設備として、プロパンガスなどを直接燃焼させるのではなく、ガスから水素を取り出して、酸素と化学反応させ電気や熱を生み出す「エネファーム(家庭用燃料電池)コージェネレーションシステム」の普及も始まっています。

進められています。稚内での活用に期待！今後、本市においても、天候などによって大きく変化してしまう風力や太陽光など、再生可能エネルギーによる電力を、従来の蓄電池だけではなく、水素に交換することにより、制御するための実証研究に向けた可能性調査が開始されます。

風力発電が盛んな本市でも、再生可能エネルギーから生まれる新たな2次エネルギー「水素」の活用に期待が寄せられており、今回の勉強会をスタートとして、将来的にビジネスとして活用されることを望んでいます。(市環境エネルギー課)

風力発電が盛んな本市でも、再生可能エネルギーから生まれる新たな2次エネルギー「水素」の活用に期待が寄せられており、今回の勉強会をスタートとして、将来的にビジネスとして活用されることを望んでいます。

今年10月28日～31日までの複合商業施設「シティーモール」において開催し、稚内をはじめ、旭川、土別など、道北6市からタマネギ、カボチャ、トウモロコシなどの野菜、リンゴ、梨、メロンなどの果物やお菓子などを中心に58品目を出品。今年には時期的に秋に収穫した農産物を出荷できカボチャやトウモロコシなどが人気を集めていました。



今年は野菜が人気

今回は、ユジノサハリンスク秋の恒例行事となりつつある、この物産展。協議会では今年度の内容を踏まえ、来年度についても継続して開催する方向で今後検討していきます。(市サハリン課)

今回の出展品の中では、稚内の「勇知いも」、「北海道のほたてと牛乳のクリームシチュー」、芦別の「さくらんぼゼリー」、富良野の「野菜ジュース」など初出展した品物も多く並んだほか、お茶や醤油、ミカンなど友好都市の枕崎市含む、鹿児島県の物産品なども出展されました。4日間開催された物産展は、昨年よりも500人多い約1万8千人の来場者が訪れました。期間中、会場では「HOKKAIDO(ほっかいどう)コスプレサミット」と称するイベント(北海道主催)が開催され、サハリンの高校生など10名程度が日本のアニメキャラクターに扮するなど、多くの来場者を楽しませる場面もありました。



## 新たなエネルギーとして注目！ 水素燃料のビジネス活用を目指して



水素燃料自動車



## 今年も盛況！ ユジノサハリンスク 道北物産展

